

## 2022年度 第3回鈴鹿地区MTK報告書

2022.10.20 19:00～21:00

三交G スポーツの杜 鈴鹿

参加者 18人

FA コーチ樋口士郎氏を招聘し、地区トレセン U-12 選手を対象に「観て判断する・関わる」をテーマに指導実践をいただき、学ぶ機会を得ました。

### W-up：パス&コントロール

- パスとコントロールの質を高めながら、ボールの移動中に「観る」こと、サポートは深さをとりつつボールの移動中に「観る」ことを求められていきました。
- 直後からタイミングよくアクションが起こり自然とパススピードも上がっていきました。



### TR1：2対2＋フリーマン

- 狭くなりがちな状況から少しずつ広がり意識させ、ギャップを共有すること、DFの状況を「観て判断する」ことが求められていきました。
- あえて緩めのパスでDFを食いつかせたり、近寄ってワン・ツーなど、ギャップを狙うための引き出しも増えていきました。



### TR2：5対5ラインゴール

- 4対4で始まったが、状況を観て、5対5に変更を行う。
- フリーズにより幅と深さを要求。リスクマネジメントにも言及しながらプレー原則を確認。



### GAME：8対8

- GAMEが始まると程なくサイドやトップのポジションが修正され幅と深さが生まれる。
- 次いで、攻撃時の最終ラインに対し、リスクマネジメントについて修正。ボールウォッチャーだった最終ラインを改善。常に関わることを要求。



樋口 FA コーチのポジティブな声掛けにより、選手はサッカーを楽しみながらチャレンジを続けていました。